

平成26年度第2回山梨県スポーツ推進審議会
会議録

1 日時 平成27年3月16日(月)14時00分～15時30分

2 場所 山梨県庁本館 2階 特別会議室

3 出席者

(1) 委員 12名

飯田忠子、岡部和子、加藤すみゑ、川上隆史、炭田久美子、田草川光男、辻 知恵、
土屋 直、中村 実、藤本智文、斉藤正人、藤森顕示

(2) 教育委員会事務局

スポーツ健康課長、総括課長補佐、主幹、担当職員7名

4 傍聴者等の数 なし

5 会議次第

(1) 開会

(2) 会長あいさつ

(3) 議事

(4) 閉会

6 議題

[審議事項]

スポーツ施設整備について (資料1、資料2)

スポーツ団体への補助について (資料3)

[報告事項]

冬季国体、高校総体スケート競技会の開催について (資料4)

レクで学校丸ごと元気アップ!事業等について (資料5 - 1 ~ 4)

山梨県スポーツ推進プログラムの進捗について

) 数値目標について (資料6)

) H27事業の概要について (資料7)

オリンピック関連事業について

) 事前合宿について (資料8)

) スポーツ合宿等誘致事業について (資料9)

7 議事の概要

スポーツ施設整備について、審議する。

(事務局)

スポーツ施設整備について、資料1～2に基づき、説明。

(委員)

蕪崎射撃場の状況はどうなっていますか状況を聞きたい。

(事務局)

現在、閉鎖している。移転という話もあったが、工事費が縮減できないという理由で、平成23年度に5年間検討を凍結する、ということになりました。

現在の蕪崎射撃場については汚染土壌の処理をする必要があるため、そこを利用するというような計画はありません。

(委員)

甲州市で、ある程度進められたと思いますが、諦めたということによろしいでしょうか。

(事務局)

全く白紙の状況です。蕪崎について、まず土壌汚染の対策をするということで考えています。新射撃場の検討については、平成23年度に5年間凍結するという結論になりましたので、5年間が経過した後で再度検討することになると考えています。

(委員)

ビーチバレーコートはどこからの要望ですか。

(事務局)

県バレー協会です。

(委員)

場所はどこですか。

(事務局)

小瀬という要望です。

(委員)

北杜市には、林の中でできるビーチバレーということで、すでにビーチバレーコートが2面あります

バレーボール協会でも、若い人たちが、関東大会や全国大会に出るために白州の会場で練習をしています。白州は花崗岩の白い砂が取れるということで貝殻がなく、安全にできるものです。要望ですが、せっかくビーチバレーコートが白州にありますので、是非、県と市と連携をとって、関東大会が開催できる4面のコートを整備してもらいたい。

すでにあるところに集中的に整備していくことも大切ではないでしょうか。

(事務局)

既存の施設を改修することは、効率的な方法ですので、これも踏まえて作業を進めたいと思います。

(委員)

もう一点要望ですが、小瀬体育館のトイレは男女とも非常に狭いと感じています。早急に改修すべきです。

(委員)

資料には、現在、当面が開かれる予定の大会ということで3つ挙げられていると思います。このほかに競技団体から聞けば、いくつもの大会はあるといますので、その辺の大会も加味した整備も必要ではないかなと思います。かつて学院大学の長倉先生の方で、将来的な計画として、想定する大会のためにはこのくらいの規模とすることを検討したこともある。

先ほどのトイレの話ではないですが、基本的に小瀬の体育館を改修しないと、プロみたいな大会をやっても、控え室が同じようなところにあったり、使い勝手が悪く、根本的に今の仕様にしていかなければならない。

(委員)

中央市市民体育館を管理していますが、リニアが通ることもあって、建て替えみたいな話もあります。中規模の試合が開催できるような体育館を作ってもらえるように、県からも働きかけをしていただきたいと思います。

(事務局)

市町村が建てるもので、基本的には市町村だと思いますが、ご相談いただければ、必要な規模とか、ある程度のアドバイスはできると思います。

(委員)

スポーツ施設整備の観点で新しい考え方である、地域の活性化とか入れ込んでいるの

は、今の国の考え方や知事の考え方に合致しており、いいと思います。

都市教育長会会長という立場で出席させていただいていますが、北杜市教育長という立場で言わせていただければ、八ヶ岳スケートセンターですが、八ヶ岳のスケートセンターの存続ということが、市にとっても大きな話題になっています。平成30年には、冬季国体や冬季総体が開かれる。会長の話にもあったとおり、今年は大変良い成績を収めることができた。それもこれまで積み上げてきたものがあったから、そこにスケート場あるからだと思います。整備の中に入っているということは存続していくのかな、と思っています。いずれにしても、長く拠点になれるように、ぜひお願いしたいと思います。

(議長)

それでは、まとめさせていただきたいと思います。整備方針には、2巡目国体も踏まえ、県有スポーツ施設を改修したり、リニューアルしたり、新たな競技への対応などについても書かれており、ただ今、示された整備方針については、概ね合意いただけたとするに思っております。各委員の先生からいただいた意見をつけて、了解をしたいと思いますがいかがでしょうか。拍手を持って了解を頂けますか。

(委員) ~ 拍手 ~

スポーツ団体への補助について、審議する。

(事務局)

スポーツ団体への補助について、資料3に基づき、説明。

(委員)

2番の競技団体への補助金は、本国体への補助金でしょうか。

(事務局)

関プロへの補助金も含まれています。

(委員)

関プロはここを突破しなければ、本国体に行けません。関東は競技レベルが高く、予選を突破することは非常に厳しい。派遣費の規定が厳しく、予選会敗退の場合、試合時間が遅くなっても、宿泊料をキャンセルしなければ、補助が出ません。非常に使い勝手

が悪い。選手のみなさんは負けるために行っているわけではないので、試合は一生懸命戦っている。例えば試合時間が遅くなる時には、ホテルをキャンセルして帰ってこなければならぬ。なかなかそれは辛いものもあります。100 パーセント近いキャンセル料に補助金を使うのであれば、体を休めて翌日まで宿泊を認めてもらえないでしょうか。

(事務局)

今回、試合時間によって、委員の言うような運用ができる様、補助金の見直しをしました。競技団体への周知も行います。

(議長)

原案のとおり了解ということで、よろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

冬季国体、高校総体スケート競技会の開催について、報告する。

(事務局)

冬季国体、高校総体スケート競技会の開催について、資料4に基づき、説明。

レクで学校丸ごと元気アップ！事業等について、報告する。

(事務局)

レクで学校丸ごと元気アップ！事業等について、資料5 - 1 ~ 4に基づき、説明。

(委員)

取組の成果が、資料のうしろに書いてありますが、この成果の外に教師と子供の距離、保護者と教師の距離が、この事業を通して、近くなったと思います。これまで話をしなかった子供と話をしたり、同じように行動したり運動したり非常に良い成果があったと思っています。

山梨県スポーツ推進プログラムの進捗について) 数値目標について) H27事業の概要について、まとめて、報告する。

(事務局)

山梨県スポーツ推進プログラムの進捗について) 数値目標について) H27事業の概要について、資料6、資料7に基づき、説明。

(委員)

アンケート対象者は誰ですか。

(事務局)

小学生456は全県下の小学生です。

オリンピック関連事業について) 事前合宿について) スポーツ合宿等誘致事業について、まとめて、報告する。

(事務局)

オリンピック関連事業について) 事前合宿について) スポーツ合宿等誘致事業について、資料8、資料9に基づき、説明。

(委員)

2008年の福岡の状況を教えてください。

(事務局)

資料2枚目の左側になります。先進事例調査で、福岡市と香川県に行った。福岡市は、北京オリンピックの事前合宿では、スウェーデンの水泳、アーチェリーなど11競技の誘致があった。

(委員)

資料によりますと、香川県は陸上メインでいろいろな国を誘致したということですね。9市町村で誘致の意向が示されていますが、具体的な競技とか種目はどうでしょうか。

(事務局)

現時点では、希望する種目について上げてもらっている。今後、その種目は整理しながら連携をとっていく。施設を絡めて、マッチングしていく。

(委員)

私の経験から言えば、自治体のルールに則って行うだけでは中々決定まで行かない。おそらく選手団同士の強化部長とかコーチレベルの話から始まり、競技団体のところで決まるかなと思っている。私もイタリアへ行った時、行った先の施設でやらないか、というような話があって、それを競技団体の中で話をしながら決めていくと、いう作業が実際のところだと思っています。例えば平昌の冬季オリンピックでは、すでにイタリアのチームから小瀬できないか、と言うような話がありました。

東京オリンピックで言いますと、学院大学には柔道について6つのオファーが来ている。どれをやるか考えているところ。現場の監督には、もうそういう話があります。

(委員)

この作業はいつまでに行わなければならないのか。

(委員)

通常は、オリンピックの前年に大会が開かれますので、その時にはもう契約の段階になります。

(事務局)

データ登録の開始は、4月からであるが、情報提供は平成28年8月となる。

(委員)

オリンピックというと世界に目が向いてしまいがちですが、本当は地域のスポーツについて考えないといけないというふうに思っています。オリンピックを通して「する」「見る」「支える」そういうスポーツにつなげていくことが大切であると思っています。こういうムードを利用して、市民スポーツを定着していかなければならない、と思っています。

その他

(委員)

今年からトライアスロン競技が正式競技となった。山日新聞にもあったように、学院高校の女子に優秀な生徒がいるということで、トライアスロンの強化選手の指定を「未来の森」でやった、という記事がありました。是非、キッズ、ジュニアの部で10人ほど大会に出ている選手がいます。全国大会で優勝したり、いい成績を収めている。上の強い子だけの強化だけでなく、キッズのほうにも目を向けていただきたい。これからの優秀な国体の選手が育成できるものと思います。

(委員)

私は、山梨県スポーツチャンバラ協会の会長でもありますが、今、県体育協会の加盟団体の手続きをさせてもらっています。昨日、全国組織で会議がありまして、国体の正式種目にするために準備をしている。現在は、16都道府県の体育協会の加盟をしているところです。これを半数となるように取り組んでいます。

(委員)

県体育協会でも1週間前に会議があって、躰道という協会の加盟が承認された。そちらの団体も広く普及できるように、是非、加盟申請を出してください。

(以上)